
赤い風船 ~今を生きるあなた達へのメッセージ~

プルート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤い風船～今を生きるあなた達へのメッセージ～

【Zコード】

N1049C

【作者名】 ブルート

【あらすじ】

地球が滅ぼうとしている3000年。最後の人類によって作られた風船が、今を生きる私達へ送る”最後のメッセージ”。環境問題について本気で考えた作品です。

私は赤い風船。

真つ黒な空に赤い海の3000年。
もうこんな世界にいたくない。

さあ、でかけよう、楽園へ！

私がいる所の人間は歳をとりすぎている。
子供なんてひとりもいない。

さらに、ここの人間はひとりしかいない。
私はその人に作られた。そのひととも今日で
終わりだ。最後にさわったその人の手は、温
かだつた。さあ、出発だ。

風はゆらゆら船のように私を運んでくれて
いる。私はふと、下を見た。下はすべて真っ
赤に染まつた海。私は思った。どうしてここ
は海なのに、あの人の家は陸なんだろう。
そういえば、前にあの人人が言つていた。昔、
人間は電気というものを使い過ぎたせいで氷
が溶け、陸はみな海になつてしまつた。
しかし、奇跡的にあの人人の島は助かつた。
そしてたすかつた人たちはみなその島に住ん
だ。私は今度、上を見た。空は真つ黒に染
まつていた。

これもあの人人が言つていた。その何百年後、
何かの理由で月が割れ、それが島に落ち、
島はほとんど沈み、人間もほとんど死んだ。
しかし、あの人家の家族は生きていて島の残つ

た部分に住み、あの人に生んだと。

やがて、家族も寿命を迎える。あの人はひとりぼっちになってしまった。

その後、あの人は私を作った。

今思つた。もしかしたら、この先ずっと同じ景色かもしない。生き物はあの人のだけかもしれない。そう考えると帰りたくなった。でも、もう戻れない。私は悲しくなった。もうあの人とも会えない。そう考えただけで、心が痛い。その時、空から赤い固まりが落ちてきた。隕石だ。風が急降下して私は海に潜り込んでしまった。海の中は苦しい。それに何かに、ひっぱられてる。ついに、視界が真つ暗になつた。

あの人に会いたい。一度でいいからもう一度。

ピカッと辺が光ると何かが見えてきた。

わーーーーー。すごい。あの人の家よりも高いものがいくつも立つていて。風が私をその上まで連れてつてくれた。何やら書いてある。2005。そうか、私、過去に来たんだ。

下にの人よりも小さい人がいる。もしかしてこれが子供。私は次に海を見た。すごい。空も海も青だ。やがて空が暗くなつた。きれい。そしてアレが光り始めた。あれが電気かな。あれが無ければ私はずっとこの景色を見てられるんだな。でもよかつた。ちがう時代でもちがう景色が見れて。だんだん体が重くなつてきた。そして、パン、プシューと鳴つ

て海へ真っ逆さまに落ちて行つた。

誰かの声がする。そつと目を開けてみると、
あの人気がいた。そつか。私帰つて来れたんだ。
泣いてる。この人ずっとひとりぼっちだつた
もんね。ごめんね。

その時、空に光があふれでた。
そして、海も引いていき、なんとそこから
赤ん坊が出てきた。

新しい世界が始まつた。

よかつたね。もうひとりぼっちじゃないね。
私はそつと田をどじた。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1049c/>

赤い風船 ~今を生きるあなた達へのメッセージ~

2010年10月11日20時18分発行